

実践発表

個に応じた指導方法の追究 ー「書くこと」を通してー

狛江市立狛江第三小学校
中山 美和

児童の実態

自分のことを
伝えたい
意欲が高い。

表現するための
語彙が不足
している。

自分の考えを
自信をもって
伝えることに
課題がある。

児童の実態から

「書くこと」を通して



児童の**表**現力を高めたい

個に応じた
指導方法の
追究

学習過程の
工夫

視点と
モデル文
の提示

習熟度別
指導の
設定

日常的な活動

言語環境の整備

学習過程の工夫

単元構成の工夫

- ・ 見通しがもてる単元構成
- ・ 目的意識、相手意識を明確化

実態に合わせた学習形態

- ・ 主体的な学びにつながる。

視点とモデル文の提示

書く視点の提示

- ・ 単元で身に付けさせたい力を具体的に提示する。

モデル文の活用

- ・ 実態に応じたモデル文を活用する。

習熟度別指導の設定

習熟度別クラス

- より個の実態に合わせた指導ができる。

学級内習熟度

- 担任が習熟度を想定して指導を行う。

国語じてんをつかって調べよう。
〔気持ちや様子を表す言葉〕

やすらぐ

やすらかな気持ちになる。安心する。

ゆううつ

心の中が暗れ晴れないこと。

おおらか

気持ちが大きくゆったりした様子。

けなげ

おさない者や弱い者がりっぱで勇気がある様子。

はつらつ

明るく元気な様子。

まっすぐ

少しもまがらないこと。正直

日常的な活動

【イズミタイム】

火曜日

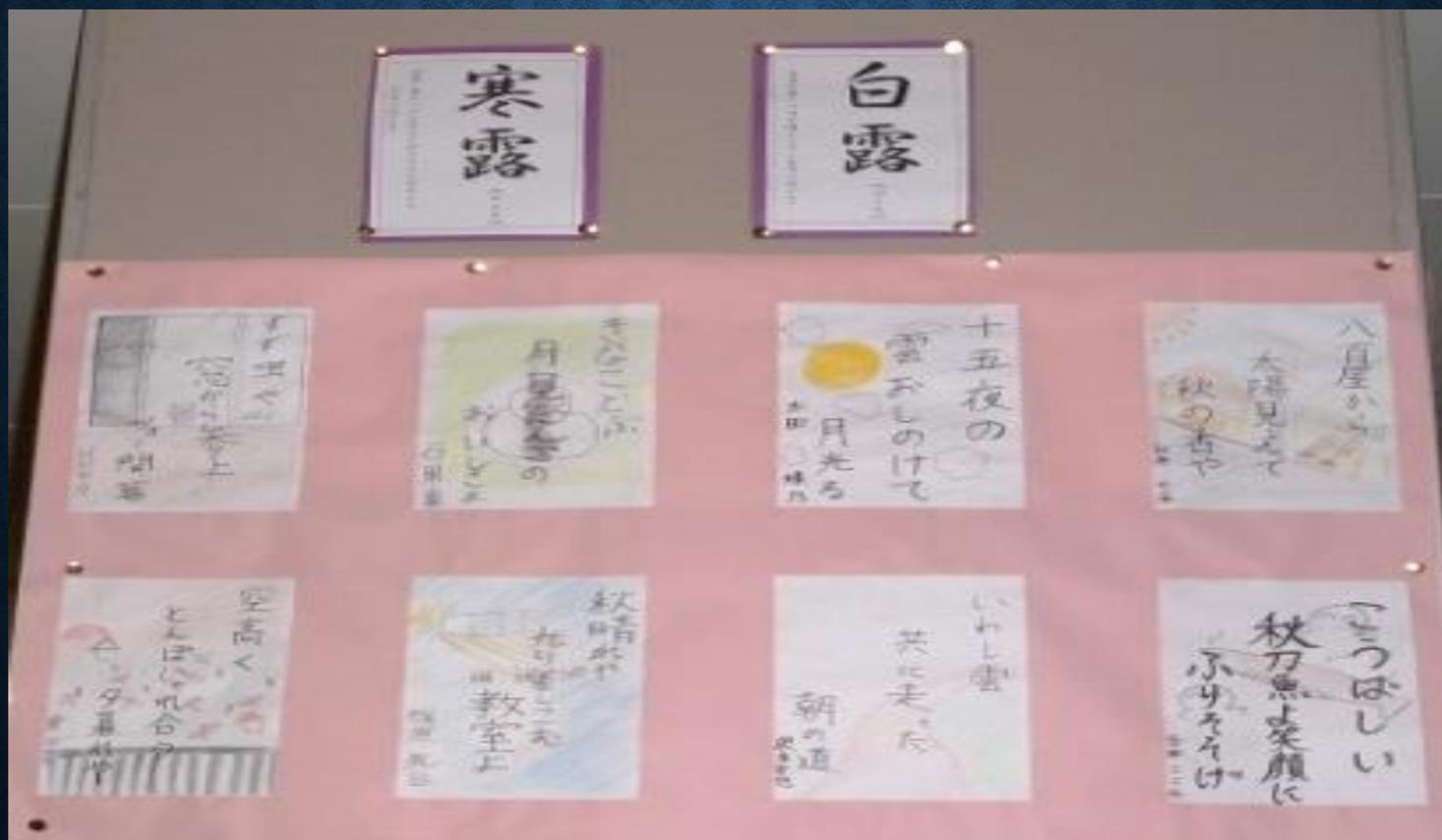
朝学習で10分間

書く活動を行った。

言語環境の整備

【ことばの広場】

言語活動の作品を昇降口に掲示した。



言語環境の整備

【季節の広場】

月ごとに
季節に合った
詩や言葉、
写真を
掲示している。



授業実践 5年生 国語

「和泉小学校を
よりよくしよう」



学習過程の工夫

1 課題意識・相手意識



学校をよりよくするために
どんなことができるか。

学習過程の工夫

1 課題意識・相手意識

9/20(水)② 学年

おすく10月 → これから～3学期

6年生と引き継ぐ時期 ... まだ足りない部分も多い

準備期間

どんどん
和泉小を
よくしたい
大事さな

こうしたいのでは...

提案しよう!

和泉小へ・代表委員会へ

- ・ 5年生としてできること
- ・ みんなでやれること
- ・ 和泉小をよくすること

もうすぐ6年生
和泉小をよくする
をよくなる

和泉小をよくするためにできることを考えよう

友達とフリートーク

挨拶

他学年との交流

そうじ

廊下を歩行

そう考える理由は?

言葉づかい

静かに初動

下校

安全に

図書
読書活動

物々管理
物を大切に

学習過程の工夫

2 目的に応じた学習形態

課題別

- ◆異学年交流
- ◆廊下歩行
- ◆あいさつ
- ◆登下校 など

習熟度別

- ◆習熟度**A**
- ◆習熟度**BA**
- ◆習熟度**BB**
- ◆習熟度**C**

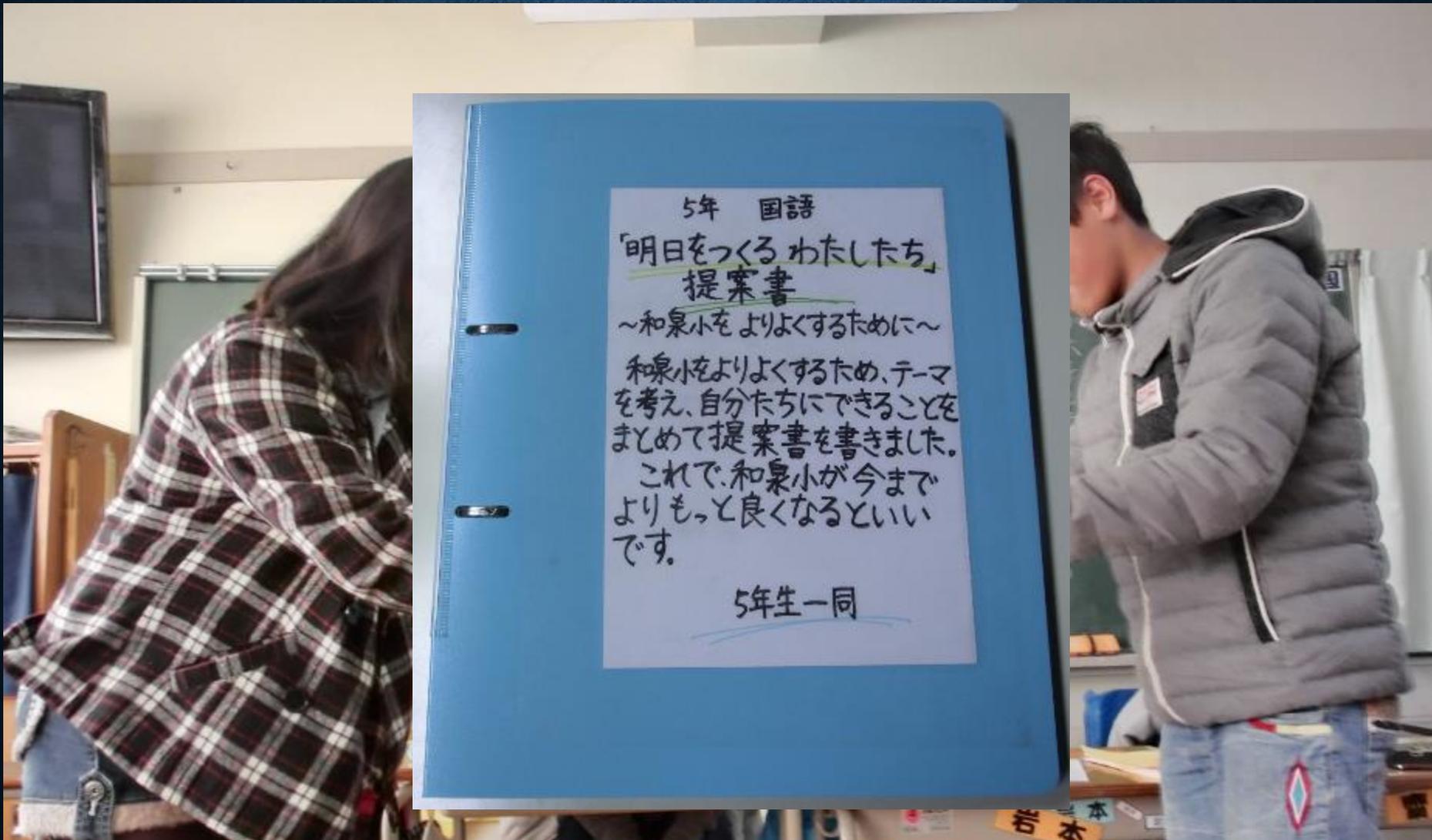
学習過程の工夫

2 目的に応じた学習形態



学習過程の工夫

3 提案書は代表委員会へ



視点とモデル文の提示

1 書く視点の提示

説明力のある・相手に伝わる

⑤ 構成の工夫

- ・キックかけ
- ・提案
- ・問題点
- ・具体的な提案
- ・考え
- ・まとめ

リード文

① 提案するきっかけ

② 提案：□ 四角に囲む

ナベバリンゲ

④ 文末表現

- ・うだ
 - ・うしている
 - ・うと考えた
 - ・うと考えました
 - ・うです
- 敬体 ↔ 常体

△ 提案書にふさわしい文末表現(例) ↓

- ・提案する。 (ことはいえない)
- ・この一つだろうか。 (ならないだろうか)

③ 接続詞 (つなぎ言葉)

- ・まず
- ・次に
- ・そして
- ・しかし
- ・けれど
- ・そこで
- ・そのためには
- ・つまり

視点とモデル文の提示

2 モデル文による書き方の例示

ちいきとのつながりを強くしよう
中川 野口 宮内 村上

何について
提案するのが
わかりやすい

これから社会をつくっていくわたしたちがすべきこととして、
「ちいきの方と関わる機会を増やす」ということについて、具体的な案を提案する。

1. 提案するきっかけ

○わたしたちの小学校では、毎週月曜日の朝に、「あいさつ運動」をしている。これは、児童会の人たちを中心に、参加したい人が正門の前に立って、登校してくるみんなやちいきの方にあいさつをするというものだ。しかし、一人一人がちいきの方と親しくしているとはいえない。ちいきには、大人と子どもの両方が参加できる行事が少なく、なかなか顔見知りになる機会がないというのも原因の一つだろう。

○学校で、わたしたちが他のクラスや学年の人と協力するのと同じように、社会の中でよりよくくらししていくためには、ちいきの方との協力が大切ではないだろうか。そのためには、ちいきの方とふれ合い、たがいの心のきよりを近づけることが必要ではないかと考えた。この考えにそって、次のことを提案する。

2. 提案

10 あいさつ運動
問題点

15

文末表現

大切な

習熟度別指導の設定

- 1 自分で書いた提案書を
基に習熟度に分けた。

習熟度
A

習熟度
BA

習熟度
BB

習熟度
C

3クラス4展開

習熟度別指導の設定

2 習熟度クラス分け

学校から帰る時、どうしていますか？
ひろがって帰っていませんか？
提案するきかけ
わたしたちの学校では、すごくけじめ
がついていて、和泉小は、いい学校と
思うけど、登下校の帰り方はあまり
よくない。おもに、広がって、大人数で、
帰ってしまうと、ほかの人に、めいわくか
かかります。

提案
広がって歩くと、自分は、きずいていない
けど、ほかの人に、めいわくかか
ります。右によろしく、歩くと、ほか
の人に、めいわくかからよける。
相手か、い、よ、は、た、い、か、い、

自分の提案書を書きよんでくれている
人に、問いかけを使っている

和泉小だけではなく、
周りの人も、きかす
る

習熟度 A

ぼくは、物を大七カにするという事を
提案します。なぜなら、ろうかや教室に
物がたくさん落ているからです。
落とし物箱があるのに、いるんな所に
物が落ちては、まずそれをどうしたらいい
かを考えました。その考えは、落としそうな
物は袋に入れてたらいという考えです。

習熟度 C

児童の変容①

〈習熟度 A クラス〉

多くの情報を基にして

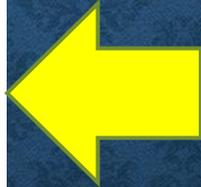
書く力が高まった。

交流や推敲を通して

文章を見直す力が高まった。

変容前

登・下校中におにごっこ
をしながら走ったり、広
がったりしているところを
見たことがあります。そう
いうことをすると事故につ
ながります。例えば、おに
ごっこをして：



変容後

登・下校中におにごっこ
をしている人を見たことが
ある。友達と遊びながら歩
いていると車や自転車が来
ていることに気が付かない。
また、広がって歩くことで、
他の人が通れずに迷惑になっ
ている。

変容後

変容前

これからよりよい和泉小学校をつくっていくわた
 たちがすべきこととして「相手の心にひびくあ
 いさつをする。」ということについて具体的な案を
 提案する。

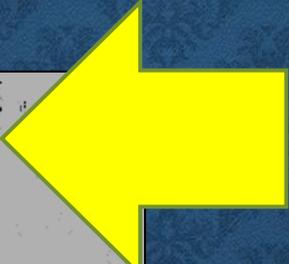
1. 提案するき、
 わたしたちの小
 スで「あいさつ週
 委員の人たちを中
 に立って、登校し
 ますつをするとい
 う
 をやっけても、
 返してくれない人
 学校で、わたし
 と相手の心にひび
 一人一人の気持ち
 めには、学校で
 ことが必要ではな

この考えをもつて、深いことも提案する。

2. 提案
 小学校で、毎朝あいさつ週間であいさつを返す。
 わたしたちの気持ち、

わたしたちの小学校では、今、あいさつ週間を
 行っている。そこには、その日の当番の人と、早朝
 に来た人も行うのはどうだろうか、

低学年とあいさつする機会には、知らない人と
 あいさつをするのが恥ずかしい人がいたと、今回
 改めて気づいた。そこで、「相手の心にひびくあ
 いさつをする。」という点でできることとして、
 このことも提案する。



あいさつをしていない人がいるから。
 あいさつじゃけんをやったがみんなあわす
 れている。集会や朝会でみんなあいさつをする
 ようによびかけをする

一人では、
 3文しか
 書けなかった。

児童の変容②

習熟度Cクラス

自分の力で書ける

文章量が増えた。

時間内に書き上げることができ、
書くことへの意欲が高まった。

児童の変容③

書くことに慣れ、

内容にも変化が見られた。

変容後

学芸会を振り返って【名前】

ぼくは、小学校生活最後の学芸会、ユクと不思議な仲間たちでがんばれたことがあります。

それは、「セリネ」と「重カキ」です。

1つ目の「セリネ」については、

堂々と目立つように「はっまり」、

「ゆくり」を注意して言うことができました。

2つ目の「重カキ」については、

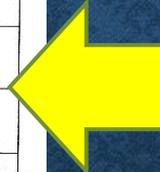
座ったり、立ったりして、動かしました。又、セリネに合わせて、

そのセリネに合う重カキを中心に、堂々と重カキすることができました。

ぼくは又、こわげきの成功

度は、100%をこえて、200%に超えることができましたと思いました。

中学生になっても、この学芸会は忘れません。



変容前

運動会を振り返って【名前】

◆係活動のこと

応援団になって、練習でも

本番でも動きを大きく、

表現を工夫して、声も全力で、

旗は大きく振り、今年、係

は大成功でうれしか、た。

◆今後の生活に活かそうなこと

大きな声を出す。

↳(ソーラン・応援団)

成果①

書くことを通して

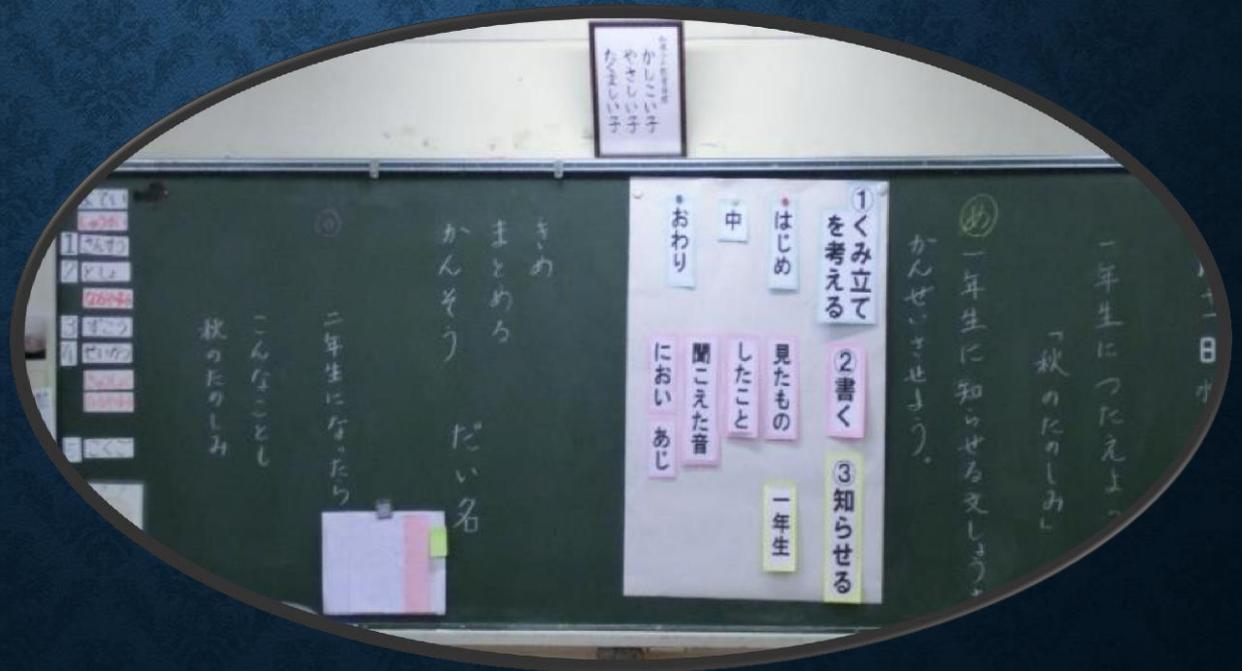
自分の考えを表現できるように
なった。



個に応じた指導方法の追究

成果②

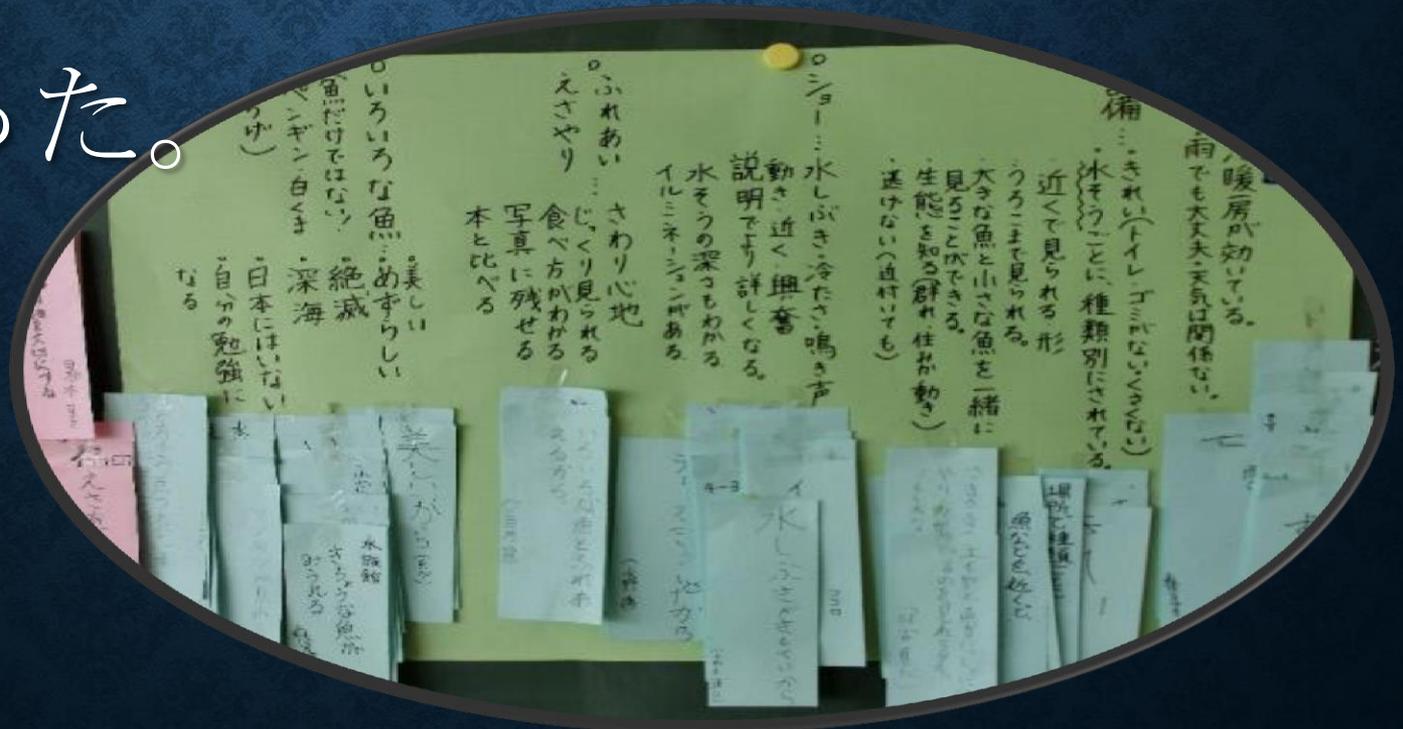
習熟度を想定し、教材研究等を行うことで、指導力が向上した。



個に応じた指導方法の追究

成果③

「書く活動」を積み上げ、
言語への興味・関心が
高まった。



個に応じた指導方法の追究

課題①

より個に応じた指導方法を
追究する。



個に応じた指導方法の追究

課題②

思考力を高める指導方法を工夫する。



ご清聴

ありがとうございました。